

100歳おめでとうございます



溝脇サヨさん (福祉村) 平澤フミさん (平井大谷) 長本ヨシノさん (万田東)

1月に100歳のお誕生日を迎えられた長本ヨシノさん、平澤フミさん、溝脇サヨさん。12月21日(月)前畑市長より記念品が贈呈されました。3人とも、「ご家族の皆さんに囲まれ、にこやかな笑顔で市長訪問のひと時を過ごされました。」

寒さに負けず！荒尾ラグビー部の皆さんとタグラグビー！

2030 あらお有明優都戦略 事業



↑高学年グループはゲームが楽しめました ↑みんなが驚く俊足！めきめき上達

ラグビー普及促進事業として、12月12日(土)、19日(土)、26日(土)の計3回に渡り、荒尾高校で開催されました。この事業は、荒尾高校ラグビー部の部員と監督が市内の小学生を対象に、ボランティアで指導しているものです。雪がちらつくほど寒い日もありましたが、子どもたちはボールを持って縦横にグラウンドを駆け回りました。高校生の丁寧な指導は頼もしく、はつらつとした笑顔で楽しんでいました。今回は3月に行われる予定です。



↑すばい動きで、高校生もひらりとかわします ↑寒さも忘れ、みんなが笑顔でボールを追います

中学生の税についての作文

平成21年度中学生の「税についての作文」(税を考える週間実行委員会)において本市から選ばれた優秀賞を、前号に続きご紹介いたします。

熊本県納税貯蓄組合連合会優秀賞

税金を大切に

荒尾第二中学校 二年 沖 香里

朝、税金によって舗装された道を通り、税金によって造られた学校で、税金によって頂いた教科書を使って勉強する。私が税金というものを知らない頃から続けてきた生活です。こんな当たり前になった生活も、税金がなくなったら大きく変わってしまうと思います。このように考えていくと、税が私たちの暮らしをどれだけ支えているのか分かります。私には、わざわざ考える必要はない、それは、それほど税が今の社会になじんでいるからではないでしょうか。私も、消費税という形で日頃から税金を納めています。つたりすれば、今の何倍もの税金を納めないといけなく

なると思います。お金が減るのだから、できれば払いたくないし、多分、喜んで税金を納めている人はそういないと思います。実際、税金を払わずに済めばかなり収入が増えるはずですが、しかし、それ以上に社会はひどく荒れてしまうでしょう。だから絶対に税は必要で「納税」は日本の、三大義務の一つにもなっています。日本に住んで、多くの施設や奉仕を受けているのですから、国に税を納めるのは当然のことです。もし、自分が警察や救急車にお世話になれば、その時は他の人が納めてくれた税金で支えてもらえるので、国民全員がお互いに、税金を通して支え合っ

ていることになるのです。きっと、納めた以上の税が自分に返ってくると思います。よく、税金の使い道について国会で話し合いがなされています。使い道は本当に色々あると思いますが、一番大切なのは、やはりどれだけの人の役に立つかだと思います。これからの日本は、高齢化が進み、今のままでは年金で生活を送る方々を支えるのが難しくなっていくでしょう。そのため、消費税の増額についての話をよく耳にします。一番いい状態の日本を作るためなら、税金を上げることも大切だと思います。多くの国民が住みやすい日本にするために、その時代の流れや社会の様子をしっかりとして、税金の額や使い道をよく考えてほしいです。私も、税金の大切さや用途を正しく理解し、社会の一員として、きちんと税金を納めたいと思います。

新型インフルエンザワクチン

小学校高学年、中学生、高校生、65歳以上の大人への接種が始まります

●接種開始の対象

医療従事者・妊婦・基礎疾患を有する人、1歳～小学校3年生に引き続き、小学校4年生～6年生、中学生、高校生(相当する年齢の者を含む)、1歳未満時の小児の保護者などへの接種が開始されています。

また、65歳以上の人の申し込み受け付けは、1月4日(月)から始まっていて、接種は1月18日(月)から開始されます。ただし、医療機関へのワクチン到着状況、申し込み状況などにより、18日から接種できない場合があります。

●接種できる医療機関

予約の上、できるだけかかりつけの医療機関で受けてください。また、入院や通院中の人は、現在受診している医療機関で相談してください。かかりつけがない場合は、12月15日号の広報をご覧ください。

●接種費用

全国一律で1回目3千600円、2回目2千550円(1回目と異なる医療機関で接種する場合は3千600円)です。接種する医療機関でお支払いください。

なお、優先接種対象者のうち平成21年度市民税非課税世帯(同一世帯の者全てが非課税である世帯)および生活保護世帯の人に対して、費用の全額を市が助成します。

市内の医療機関で接種する人は、証明書(市民税課税証明書・生活保護証明書)を医療機関窓口へ提出してください。助成の詳細は、12月1日号の広報と一緒に配付したチラシをご覧ください。申請は接種後速やかにお願いします。

●接種回数 (12月16日現在)

- 1回：妊婦、中学生、高校生、65歳以上の大人、1歳未満児の保護者など、健康な成人、基礎疾患を有する人
- ※基礎疾患を有する人で、著しく免疫反応が抑制されている人は医師と相談のうえ、2回接種しても差し支えありません
- 2回：1歳児、2歳～就学前の小児、小学生、中学1年生に相当する者で、接種時に13歳になっていない人

この内容は、平成22年1月4日現在の情報で作成していますが、変更になる場合があります。このあとも、広報あらおやホームページでお知らせしていきます。

※荒尾市民病院での「新型インフルエンザ」平日夜間外来診療は12月29日(火)で休止しました。

「問」保健センター ☎ 63・1133

